

ゼミ新聞

2016年6月8日号

正武ゼミの3年生は、タイからの留学生6人に同行し、サンリオの物流拠点であるデイストリビューションセンターへ工場見学に行った。

朝、多摩境駅に集合。京王線が遅延していたが、全員無事に到着した。多摩境駅からバスで5分ほどでデイストリビューションセンターへ到着した。外観は物流拠点とは思えない可愛さだった。



サンリオの物流？

サンリオの物流センターは、一か所のみで、ここから各店舗やネット販売の個人、海外など幅広く届けられる。6月は閑散期であった為、人が少なかつたが、11月の繁忙期はパートが増えるそう

だ。社員の方が強調していたのは、働きたくなるような職場。確かに、色々などころにキティちゃんがい

た。そして、他の物流センターより照明が明るく、音楽を流しているところが特徴だそう

だ。また、働いている人向けに、サンリオの商品が半額で販売される。サンリオ好きは働きたくなるかもしれない。



実際に見学！

3グループに分かれ、センター内を見学。歩かせない・書かせない・持たせない・待たせない・探させない・考えさせないの6つの“ない”が徹底されていた。

例えば、箱に商品をピッキングする際は、ぴったり入る箱が指定され、作業者はハンディ端末に表示される商品

箱に詰める。商品を詰める際に、端末でスキャンし、出荷と検品を1度に行うことができる。サンリオでは、毎月役400アイテムの新商品が発売さ



れる。このように、商品の移り替わりが激しく、商品形状がさまざままで機械化・自動化できないが、この“ない”システムを採用することで、誰にでもできて、効率的に作業が進められる。

見学が一番驚いたのは、在庫の多さだ。一階に、段ボールが8万箱あるそう。取扱アイテムが7,000種類あり、1日平均で2,281箱出荷されるので、在庫数も大量になるのだろう。